

一般社団法人 日本神経精神薬理学会
第 64 回理事会議事録

日 時 2016 年 10 月 10 日 (日) 13 : 00 ~ 17 : 00
場 所 コンベンションルーム・AP 品川 会議室「W」
(〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 7F)
出席理事 石郷岡 純、池田和隆、尾崎紀夫、加藤忠史、久住一郎、須原哲也、曾良一郎、中込和幸、
新田淳美、橋本謙二、橋本 均、古屋敷智之、山田清文、吉岡充弘
以上、16 名中 14 名出席
欠席理事 武田弘志、橋本亮太、
出席監事 齋藤利和、松田敏夫 以上、2 名中 2 名出席
出席各種委員長 内田裕之、山脇成人、吉尾 隆、宮川剛
欠席各種委員長 渡邊衡一郎

議 長 石郷岡 純

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

議 案 :

報告事項

1. 前回理事会(第 63 回理事会議事録)、持回り理事会議決事項の確認がなされ、異議なく承認された。
2. 第 46 回年会(第 30 回国際神経精神薬理学会(CINP)と連続開催)開催報告(池田大会長)
池田会長から第 46 回年会開催について報告された。
単独年会として 13 年ぶり、国外での開催となったにも関わらず、多くの参加者に参加いただき、
盛会のうちに、終了したことが報告された。
また、財政的にも参加者が多数であり、ランチョンセミナー等も多く開催できたことから、学会
本体に寄付できるであろうことが報告された
第 46 回年会(第 30 回国際神経精神薬理学会(CINP)と連続開催)
テーマ:産学官連携と国際連携
場 所:COEX、ソウル江南地区
日 時:2016 年 7 月 2 日(土)~3 日(日)
会 長:池田和隆(公益財団法人東京都医学総合研究所)
3. 各種委員会報告
以下、提出資料に基づき、各種委員会報告がされた。
 - a. 執行委員会(石郷岡委員長)
持ち回り理事会での議案についてメールにて検討したことが報告された。
 - b. 総務委員会(山田委員長)
2016 年 6 月 1 日から 2016 年 9 月 30 日までの会員動向について以下の通り報告された。

会員数	名誉会員	31 名
	功労会員	35 名
	評議員	261 名
	一般会員	728 名
	学生会員	154 名
	賛助会員	14 名
	新入会員	112 名

退会 36名

また、名誉会員の柳田知司先生、功労会員の町山幸輝先生がご逝去されたことが報告され、次回の評議員会にて黙祷を捧げることになった。

c. 財務委員会(橋本謙二委員長)

審議事項にて検討されることが報告された。

d. 編集委員会(古屋敷委員長)

- 1) 2015・2016の刊行状況、投稿状況について報告がされた。
- 2) 投稿規程について改定作業が進んでいるが、COI委員会にてCOIに関する部分が確定次第、施行する予定。
- 3) 学会誌の今後の方針について、評議員にメールにてアンケートを実施し、その結果については、以下の通り。
 - ①編集委員会・広報委員会の統合：賛成(46票) 反対(3票)
 - ②HPと重複するコンテンツのHPへの一元化：賛成(46票) 反対(4票)
 - ③学会誌の形態：オンライン化(42票) 冊子(6票) その他(1票)
 - ④発行回数：1回(6票) 2回(27票) 5回(13票) その他(3票)
 - ⑤冊子送付の希望：希望しない(44票) 希望する(6票)
 - ⑥コメントとしてPubMedの登録継続を求めるものが多く(11件)、その他にも英文化や充実化を求めるコメントなどがあった。

e. 広報委員会(橋本亮太委員長欠席により新田委員)

ホームページの更新について、一覧化したプロトコルが提示され、特に各種委員会の新委員長にはご留意いただきたい旨、説明された。

f. 倫理委員会(尾崎委員長)

個人情報保護法の改正について、パブコメ意見募集中である。「個人情報保護法ガイドライン(案)」に特別に個人情報として保護すべき項目に、ゲノム情報、と知的障害、身体障害、精神障害(発達障害を含む)の情報が規程されていることから、留意が必要で本学会からもパブコメを提出する必要があるとの指摘があり、文案が決まり次第、持ち回り理事会にて検討されることとなった。

g. 国際学術委員会(山脇委員長)

- 1) 7月に開催されたCINP2016について、成功裏に終了したことに対し、謝辞が述べられた。
- 2) CINP2016 期間中に開催されたAsCNP Board Meetingについて議事録が提示され、財務状況についても特に問題なく実施されていることなどが記載されている。
- 3) CINPは2年後に開催される。役員体制が新しくなり、新理事長は、ジョン・クリスタル、プレジデント・エレクトにキャスパー先生、副理事長として斎藤先生、カウンスルに池田先生が就任した。
- 4) ACNP2016へのAsCNP(アジア)からの参加者枠は6名で全て日本からの参加者となった。
- 5) ECNPでは、Nomenclatureの議論が進んでおり、学術雑誌の投稿規程にも採用されつつあるので、本学会としても対応が必要である。
- 6) AsCNPは次回はバリ(インドネシア)にて開催予定。2017年度より事務局体制が変わり、事務局長が池田先生から新田先生に代わる。2019年度の年会は日本で開催予定で池田先生が大会長となる。
- 7) ECNP/CINP/AsCNP リーダーシップ会議について、出席した池田委員より報告された。

h. 学術賞選考委員会(吉岡委員長)

- 1) JSNP ソウル大会参加支援について
35歳以下会員の若手研究者へ250ドル48名分、35歳以下学生会員へ100ドル18名分は支援を決定しすでにCINP事務局に送金済みである。
- 2) 各種賞について

- ① Excellent Presentation Award for CINP 2016 37名
- ② 優秀論文賞 該当者なし（今後については議論が必要）
- ③ 学術奨励賞 2名

i. 企画(研究推進)委員会(久住委員長)

企画委員会としての課題について検討されたことが報告され、新しい委員会に引き続き研究推進について検討いただきたいとの発言があった。

j. トランスショナル・メディカルサイエンス委員会(中込委員長)

- 1) 企業からの相談は、現在2件について相談している。
- 2) アドバイザリーの役割を果たす関係上、相談に乗った案件の治験に加わるのは問題である可能性があり、相談される企業にはこれを最初に伝える必要がある。

k. 薬剤師ワーキンググループ委員会(吉尾委員長)

ソウル大会にて日本精神薬学会の発足に向けて会合し、9月1日に正式に発足した。本学会との連携も模索している。

l. 統合失調症ガイドライン作成タスクフォース(石郷岡議長)

- 1) 統合失調症ガイドラインが出版され、概ね好評いただき販売中である。
- 2) ガイドラインの普及と教育のためのEGUIDEプロジェクトについて実施しており、概ね盛況のうちに開催されている。

m. Nomenclature ワーキンググループ委員会(内田委員長)

9月にウィーンで開催されたのタスクフォース会議に参加した。主な動きは以下の通り。

- ①NBMが複数の学会誌の投稿規程に組み込まれつつある。学会誌によって取り組みの積極性は異なるが、本学会としても対応が必要である。
- ②NBMについてWHOに交渉しており、概ね好意的な返答ではあるが、段階的に動いている状況である。

n. 薬事委員会(渡邊委員長欠席により尾崎理事)

自動車運転に関して抗精神薬の影響について、運転でき得るへの変更の可能性がでてきたため、注意に関する文案を検討しているところである。

o. COI 委員会(宮田委員長)

前回の理事会で本委員会発足が承認され、委員長に就任したことが報告され、COI 指針・細則の一部改定について作業を進めていることが報告された。

p. 会員交流促進タスクフォース(宮川委員長)

Facebook ページおよび Twitter 学会アカウントを開き、ニュースレター的に一斉配信している情報やホームページに上げている情報を流すことと、双方方向コミュニケーションとして各委員会やタスクフォース等でクローズドグループを作るなどする、興味のあるトピックでグループを立ち上げて議論するなどとして、活用していくことを計画していることが報告された。

3. 第47回年会(第39回日本生物学的精神医学会との合同開催)準備状況報告(南大会長)

南大会長より以下の通り報告された。

会 長：南 雅文(北海道大学大学院薬学研究院薬理学研究室)

開催日：2017年9月28日(木)～30日(土)

会 場：札幌コンベンションセンター

テーマ：脳と心のフロンティア～「知」と「療」の連携

シンポジウム30枠、教育講演5枠、口演発表44題を予定している

4. PPPs タスクフォースについて(山脇前 CINP 理事長)

抗精神薬の開発が停滞している現状に対し、プレコンペティティブな場を設けてバイオマーカーなどの開発をすることを狙って13回の会合を重ね、ソウル大会での発表を行ったことが報告された。各ワーキンググループの内容は以下の通り。

- WG1 ニューロイメーjingバイオマーカーと創薬開発
- WG2 精神疾患の層別化技術開発
- WG3 既存臨床データの新薬開発への活用
- WG4 日本人およびアジア人のゲノムに合わせた創薬の基盤構築（仮）

審議事項

1. 2016年度収支決算報告および監査報告について（橋本謙二財務委員長）
 - 1) 2016年度収支決算報告につき、適切に処理し、会計監査を受けたことが報告された。2016年度当期収支差額は、2,314,376円の赤字であることが報告された。理由としては同一年度内に2回年会が開催されたことが大きいとの見解が示された。
 - 2) 公認会計士からの監査報告書が提示され、引き続き、斎藤監事からの監査報告がなされた。以上、本理事会として提出された全ての会計書類に関して、異議なく承認がされた。
2. 役員体制について
池田和隆理事が理事長に推挙され、全会一致で承認された。また、副理事長として、中込和幸理事が推挙され、全会一致で承認された。

平成28年10月10日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長	代表理事	石郷岡	純
	出席理事	池田	和隆
	出席理事	尾崎	紀夫
	出席理事	加藤	忠史
	出席理事	久住	一郎
	出席理事	須原	哲也
	出席理事	曾良	一郎
	出席理事	中込	和幸
	出席理事	新田	淳美
	出席理事	橋本	謙二
	出席理事	橋本	均
	出席理事	古屋敷	智之
	出席理事	山田	清文
	出席理事	吉岡	充弘

出席監事 齋藤 利和

出席監事 松田 敏夫